

平成 29 年度第 1 回大阪府立弥生文化博物館指定管理者評価委員会  
議事要旨

1 日 時 平成 29 年 7 月 13 日（木）10 時～12 時 30 分

2 場 所 大阪府立弥生文化博物館 1 階会議室

3 出席委員 伊藤委員、奥村委員、香川委員、高井委員、團委員

4 議事内容

(1) 委員長及び委員長代理の選任について

高井委員が委員長に選出され、伊藤委員が委員長代理に指名された。

(2) 評価項目及び評価基準にかかる指標の設定について

【主な意見】

○被評価者である指定管理者が評価に納得している場合は改善が進む。指定管理者が納得できる適切な評価基準、目標値を設定することが重要である。また、指標や目標値の設定は年度当初に行うのが望ましい。

⇒事務局：次年度以降は年度当初に評価委員会を開催できるよう調整する。

○I-(3)「出前授業」について、指定管理者は 70 回という目標数字を提示しているのに対し、なぜ指標は 60 回に減らすのか。

⇒事務局：昨年度までは 48 回が目標値であった。学校等相手方の希望があってはじめて実施できる事業なので、急激に目標値を増やすことは適切ではないと考えている。

○I-(4)「ホームページの更新回数」ではなく SNS やフェイスブックなどのフォロワー数や「いいね」の数を評価すべき。

⇒事務局：今年度におけるフェイスブックの「いいね」等の数値を確認したうえで、来年度の評価表作成の際に検討する。

○指標は定性的なものではなく定量的なものとするべき。多くの受講者がある「木曜大学」等について、数値を出したうえでしっかり事業を行っていることを言うべきである。

⇒事務局：数を明確に出しにくいもの、相手があつての事業のため数値を出しにくいものもあると考えている。何か数値を出せるものがあるか、指定管理者の意見も踏まえ検討する。

○管理運営にかかる点について、Ⅰ-(7)「施設管理」は、マニュアルの有無、訓練の回数等具体的な内容や数値を入れた方がよい。Ⅲ-(1)「事業計画の計画に対する妥当性」は、計画通りか否かということであればそのように書くべき。Ⅲ-(2)「人的能力」は、人員等の確保・配置ではなく、適正に機能しているかどうかを評価すべき。  
⇒事務局：修正する。

○評価委員会としても指定管理者の評価を行うべきと考えるが、大阪府の評価制度では、指摘・提言のみで評価そのものは行わないとのこと。評価委員会として、数値を入れた詳しい文言により報告できればと考えている。

**【今後の進め方】**

評価票について、意見を踏まえて事務局で修正案を作成する。委員長の確認を得たうえでメールにて各委員に報告する。